

祁答院生態系保存資料施設（資料館アクアイム）リニューアル基本方針

1 基本方針の目的

本資料は、藺牟田池環境保全基本計画及び藺牟田池環境保全グリーンインフラアクションプラン（以下「アクションプラン」という。）に基づき、祁答院生態系保存資料施設（資料館アクアイム）（以下、「アクアイム」という。）を、リニューアルするための基本方針を定める。

2 現状の課題

- (1) アクアイム発の情報発信が不足し、展示情報のストーリー性が乏しく、情報の更新がない。
- (2) 水槽に係る維持管理の負荷が高く、維持管理経費を縮減する必要がある。
- (3) アクアイムによる自然観察会等ソフト事業の実施が少ない。（外来魚駆除釣り体験等は実施）
- (4) 来館者が減少している。

3 藺牟田池環境保全基本計画及び同アクションプランの概要

(1) 藺牟田池環境保全基本計画（抜粋）

藺牟田池の玄関口に位置する様々な情報の発信源となるべき施設「アクアイム」のリニューアル及び民間活力等による利活用の促進について、生態系専門家の意見等も踏まえ、検討する。

(2) アクションプラン（抜粋）

祁答院生態系保存資料施設資料館アクアイムのミュージアム機能を見直したリニューアルの実施及び、基本計画及びアクションプランを推進していくための官民一体となった活動の拠点としての機能を整備する。

（アクアイムのビジターセンター化、アクアイムを中心とした藺牟田池全体の資料館化、藺牟田池の自然と触れ合う自然体験プログラムのメニュー化等の整備）

4 リニューアルのコンセプト

自然観察や自然体験、アクティビティ等、藺牟田池全体へ誘導し、学習、活動及び交流の拠点施設として整備する。

5 施設の方向性

(1) 藺牟田池全体へ求心性を高め、交流人口を増加

アクアイムのコンテンツだけで入館者増を目指すのではなく、藺牟田池の自然観察、キャンプ、登山、外来魚駆除釣り体験等、アクティビティ等に誘導するとともに、藺牟田池に関する学習、活動及び交流の拠点施設としてリニューアルし、交流人口の増加を目指す。

(2) ビジターセンターとして整備

ガイドによる「案内」、「解説」、「体験の促進」、「休憩・避難」、「情報発信」等の機能を備えたビジターセンターとしての機能を整備する。

(3) ランニングコストを縮減

空調及び水槽等の在り方を検討する。

6 目指すべき施設の機能

(1) 学習の拠点

- ア 来訪者の藺牟田池の環境保全に対する関心を高める。
- イ 小中学校の学級単位の授業や自然体験が可能な環境を整える。
- ウ 小中学生の夏休みの課題を行う場所として利用される。
- エ 個人、団体の自主学習や調査研究の場所として利用される。
- オ 自然観察会、外来魚釣り大会のほか様々な自然体験を実施する拠点として利用する。

(2) 活動と交流の拠点

- ア 環境保全団体、アクティビティ利用者及び地域住民等の勉強会、打合せ場所及び各種団体の交流の場所として利用される。
- イ 交流人口の増加により、アクションプランに掲げる年間1万5千人(令和6年度年間6,834人)を目指す。

7 リニューアルの方針

(1) 学習効果を高めるストーリー性をもった展示物の配置

藺牟田池の学習効果を高めるため、「8 展示計画の内容」に記載する展示について、1階は、藺牟田池の基本的な情報、2階は専門的な情報等、ゾーニング、順路を工夫し、施設管理者が説明・案内し易いようストーリー性をもった展示物配置とする。

(2) 体験し環境学習が出来るコンテンツの配置

- ア タッチパネルや触覚展示など、体験し環境学習ができるコンテンツを配置する。
- イ パネル展示のほかデジタル技術を活用し、生態系等を生き生きと表現する。

(3) 求心力を高めるコンテンツの配置

各階中央部など、入館者の求心力を高めるコンテンツを配置する。

(4) ミーティングスペースの確保

各種団体等の打合せ、勉強会、交流ができる大(8～12名程度)、中(4～6名程度)、小(2～3名程度:複数)のミーティングスペースを確保する。(テーブル、家具等含)

ミーティングスペースは小中学生が夏休みの課題に取り組んだり、様々な方々の調査・研究の場所となったり、休憩の場所として活用される。

(5) ランニングコストの縮減

デジタルによる展示は、施設管理者側でデータ更新可能とし、ランニングコストがかからない手法を導入する。

なお、構造上、支障があるような躯体の改修は想定していない。

(6) リニューアルオープン(予定)

施設の名称を検討し、令和11年4月のアクアタイム開館30周年記念リニューアルオープンを目指す。

8 展示の内容

- (1) 藺牟田池の成り立ち (火口湖の説明、名前の由来等)
- (2) 藺牟田池の自然環境 (藺牟田池の自然、希少野生動植物、外来種)

- (3) 蘭牟田池の法令の指定
- (4) ラムサール条約
- (5) 国内希少野生動植物ベッコウトンボ
- (6) 泥炭形成植物群落
- (7) 蘭牟田池の歴史・伝説等（銭取石、農業用水路、竜石伝説ほか）
- (8) 蘭牟田池のアクティビティ（外来魚釣り、登山、キャンプ、ボート、サイクリングほか）
- (9) 蘭牟田池のグリーンインフラとしての機能
- (10) 蘭牟田池の課題と将来計画

9 今後のスケジュール（予定）

令和 8 年 6 月	プロポーザル方式にて設計施工一括発注方式にて発注
8 月～	同契約（継続費設定、3 カ年一括契約）
令和 9 年 4 月～	改修工事
	名称変更
	入館料改定
令和 1 0 年	施設管理条例改正
令和 1 1 年 4 月～	開館 3 0 周年記念リニューアルオープン

※ 本基本方針は、令和 8 年度 3 月策定のため、最新の情報は以下のとおり

6 目指すべき施設の機能

(2) 活動と交流の拠点

イ 交流人口の増加により、アクションプランに掲げる年間 1 万 5 千人（令和 7 年度年間 8,953 人）を目指す。

9 今後のスケジュール（予定）

令和 8 年 1 2 月	プロポーザル方式にて設計施工一括発注方式にて発注
1 2 月～	同契約（継続費設定、3 カ年一括契約）
令和 9 年 4 月～	改修工事
	名称変更
	入館料改定
令和 1 0 年	施設管理条例改正
令和 1 1 年 4 月～	開館 3 0 周年記念リニューアルオープン